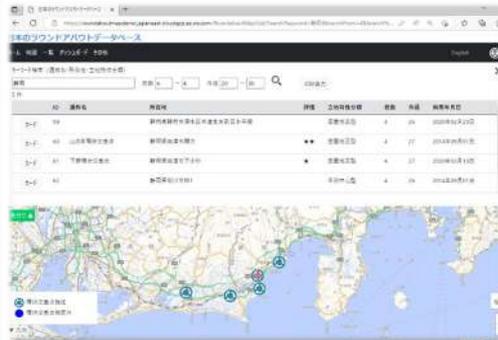


社会貢献プロジェクト #2220 データベース整備に基づいた 日本のラウンドアバウトの実態と事例情報の発信

PL 中村 英樹 (名古屋大学大学院)
吉岡 慶祐 (日本大学理工学部)



▶ IATSS会員

- 中村 英樹 (PL, 名古屋大学大学院環境学研究科 教授)
- 鈴木 弘司 (名古屋工業大学工学部 准教授)
- 永田 潤子 (大阪公立大学大学院都市経営研究科 教授)
- 浜岡 秀勝 (秋田大学理工学部 教授)

▶ 特別研究員

- 阿部 義典 (国際航業(株) インフラマネジメント事業部 道路計画担当部長)
- 池田 武司 (国土技術政策総合研究所 道路交通研究部 道路交通安全研究室 室長)
- 井料 美帆 (名古屋大学大学院環境学研究科 准教授)
- 上坂 克巳 ((公財)交通事故総合分析センター 常務理事)
- 奥城 洋 (セントラルコンサルタント(株) 東北支社 道路交通部 上級主任技師)
- 康 楠 (南京工業大学 交通運輸工程学院 副教授)
- 神戸 信人 (株オリエンタルコンサルタンツ 交通運輸事業部 副事業部長)
- 下川 澄雄 (日本大学理工学部 教授)
- 高瀬 達夫 (信州大学工学部 准教授)
- 高橋 健一 (三井共同建設コンサルタント(株) 道路・橋梁事業部 道路第一部 部長)
- 張 馨 (名古屋大学大学院環境学研究科 講師)
- 松村みち子 (タウンクリエイター 代表/IATSS顧問)
- 宮坂 好彦 (株建設技術研究所 東北支社 道路・交通部 次長)
- 宗広 一徳 ((国研)土木研究所 寒地土木研究所 寒地交通チーム 主任研究員)
- 吉岡 慶祐 (日本大学理工学部 助教)
- 米山 喜之 (株長大 社会基盤事業本部 第1道路部 担当部長)
- 渡部 数樹 (株オリエンタルコンサルタンツ 関東支社 交通政策部 次長)

▶ オブザーバー

- 牧内 一司 (飯田市 建設部 地域計画課 課長)
- 近藤 益生 (飯田市 建設部 地域計画課 課長補佐)

国際交通安全学会(IATSS)における ラウンドアバウト(RAB)研究調査への取り組み

IATSS研究調査プロジェクト

2009

- 飯田市東和町交差点RAB化提案
- 苫小牧寒地試験道路における模擬RAB実験



2010

- 飯田市吾妻町RAB化社会実験



2012

- 飯田市東和町信号交差点のRAB化



2013-2015

- RAB化事前事後比較分析
- 各地RAB計画/社会実験の技術提案・参画

2020-2022

- RABデータベース開発・分析, 情報提供

RAB普及段階へ
多様化

交通工学研究会(JSTE)

2006-2008

JSTE RAB自主研究委員会



2009

RABの計画・設計ガイド(案)

2011 東日本大震災

2012-2013 国交省社会実験(軽井沢)

2014 国交省社会実験(守山, 焼津)

2014.1. RAB普及促進協議会設立

2014.8. 国交省道路局通知
2014.9. 改正道路交通法施行

2016 RABマニュアル発行



2021 RABマニュアル2021発行

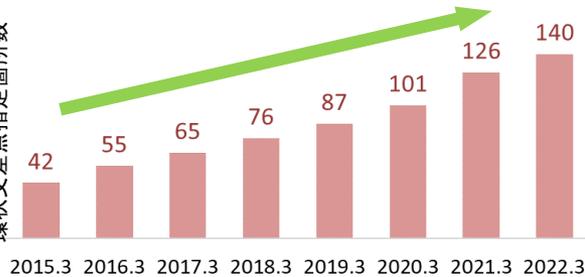


枝数別RABの国内分布状況

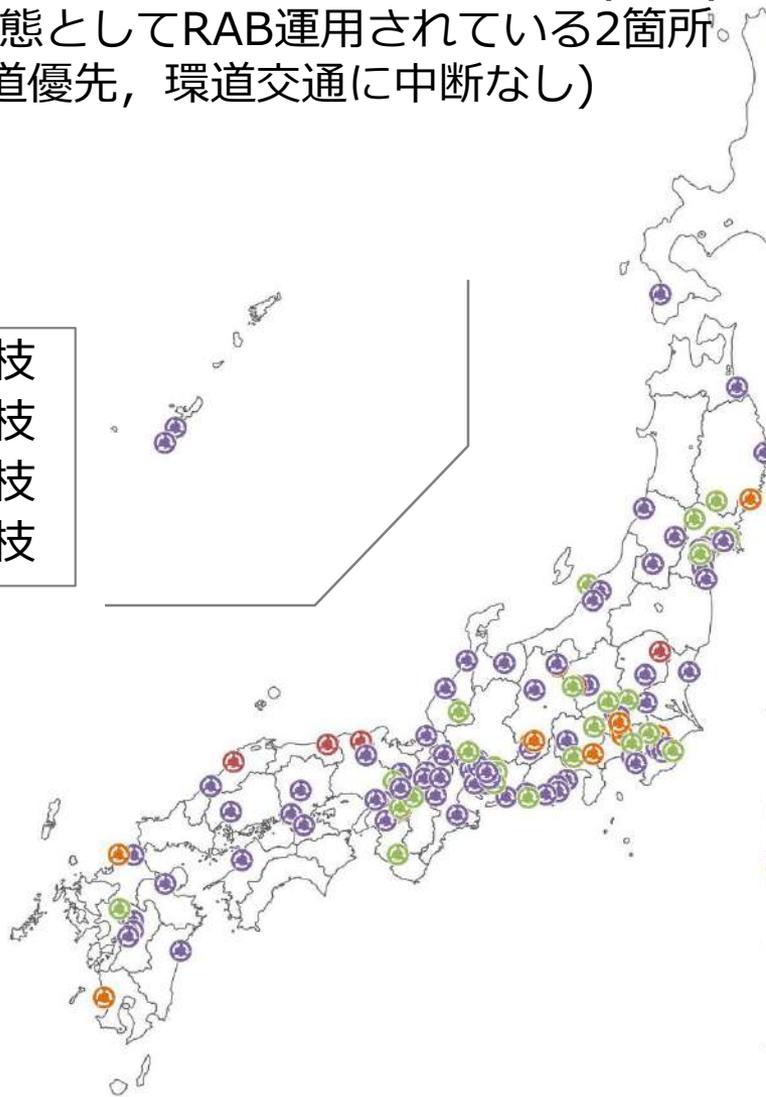
▶ 計142箇所(2022.3.時点)

警察庁環状交差点統計の140箇所(右図)
+実態としてRAB運用されている2箇所。
(環道優先, 環道交通に中断なし)

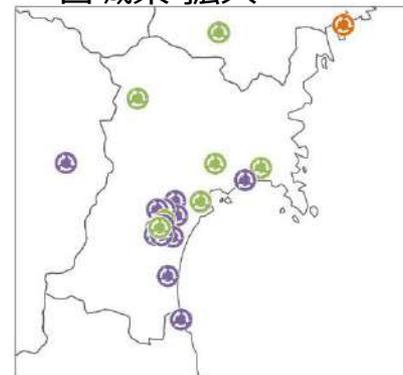
環状交差点指定箇所数



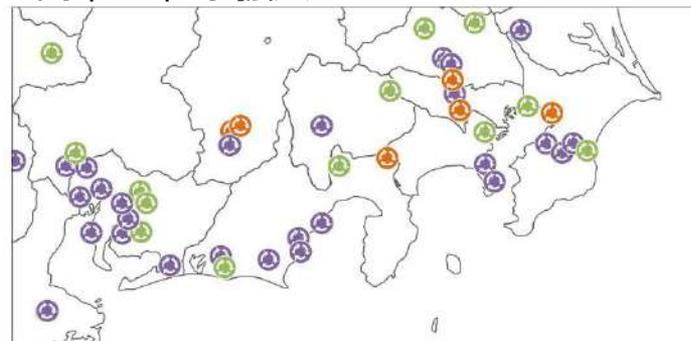
- 3枝
- 4枝
- 5枝
- 6枝



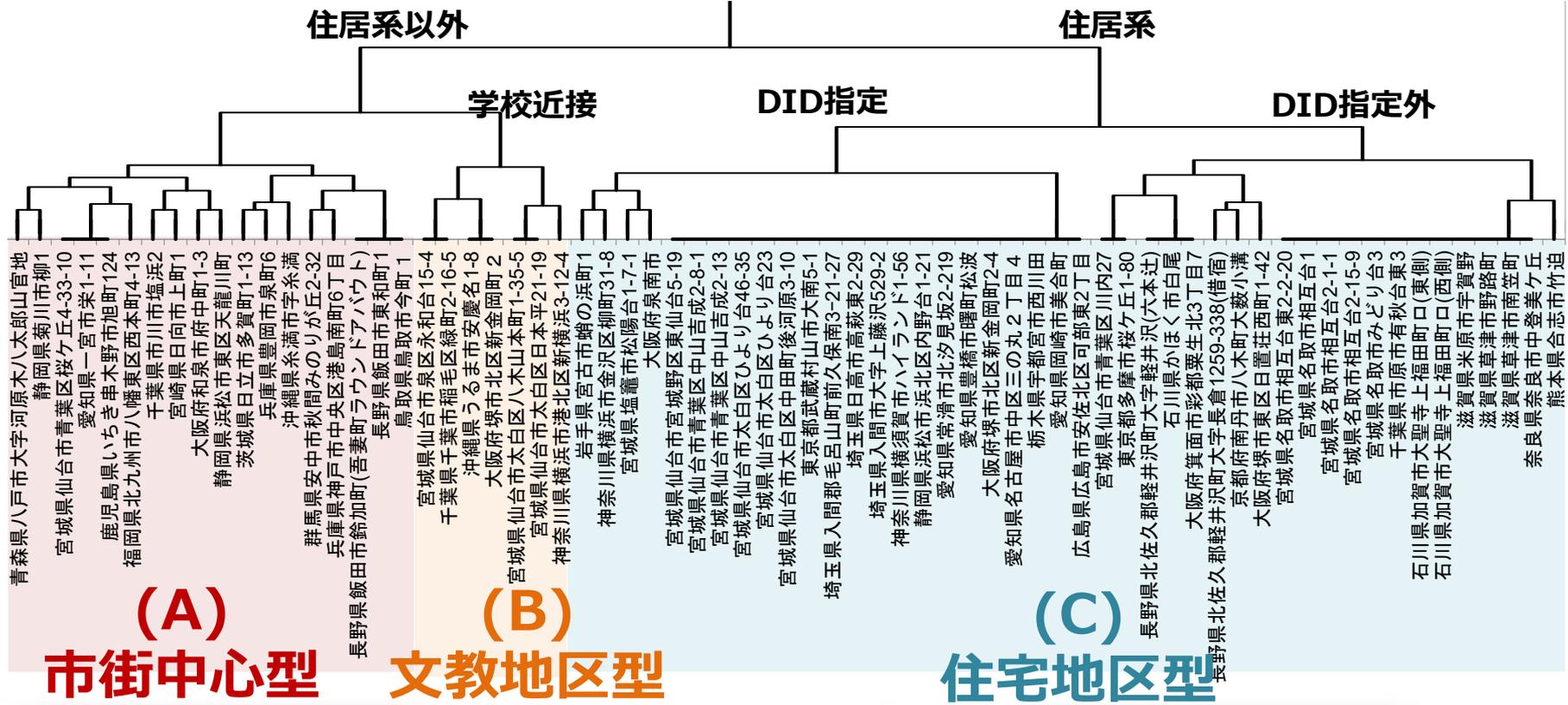
宮城県 拡大



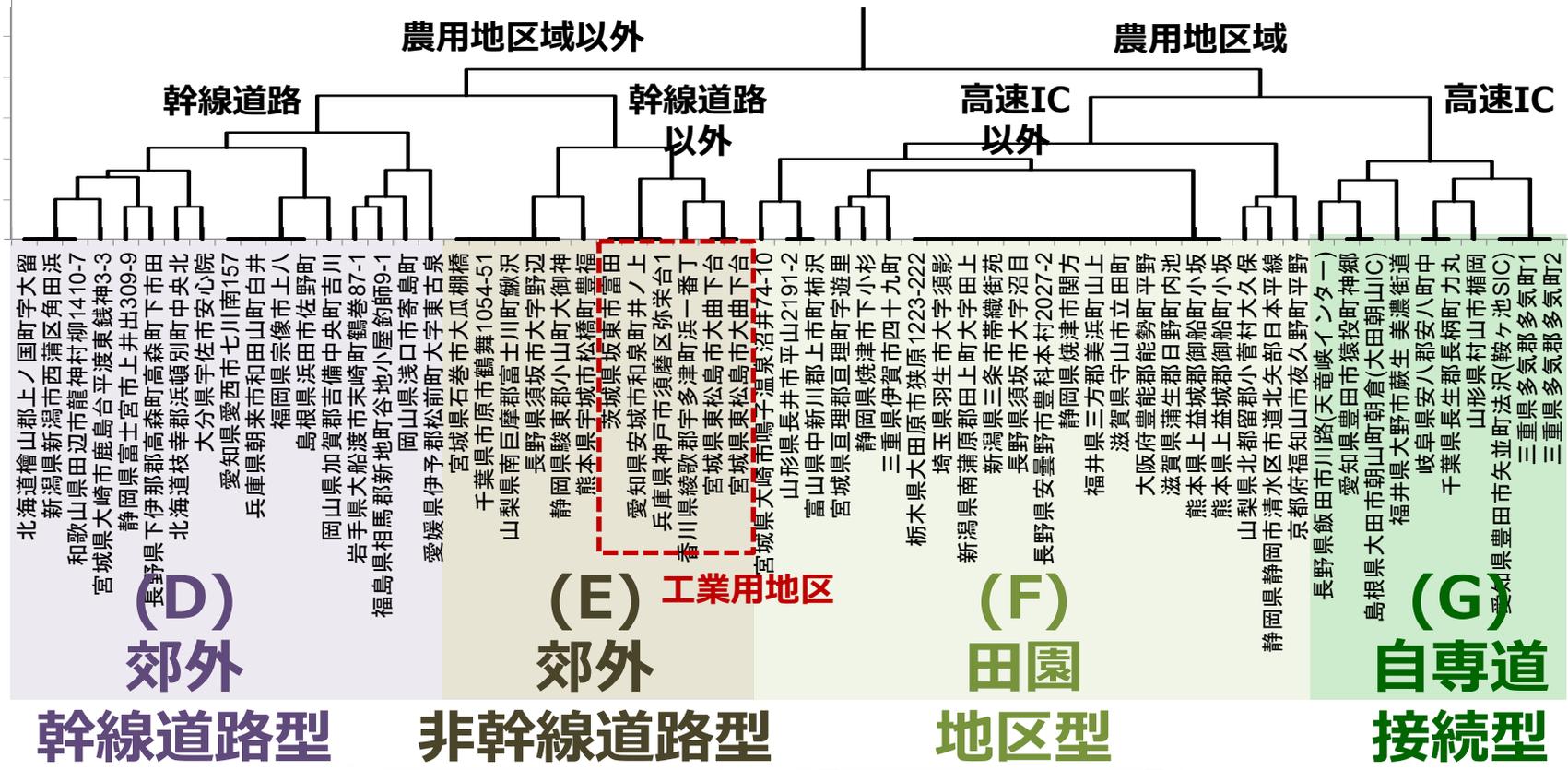
関東～東海 拡大



グループピング結果 (市街地系)

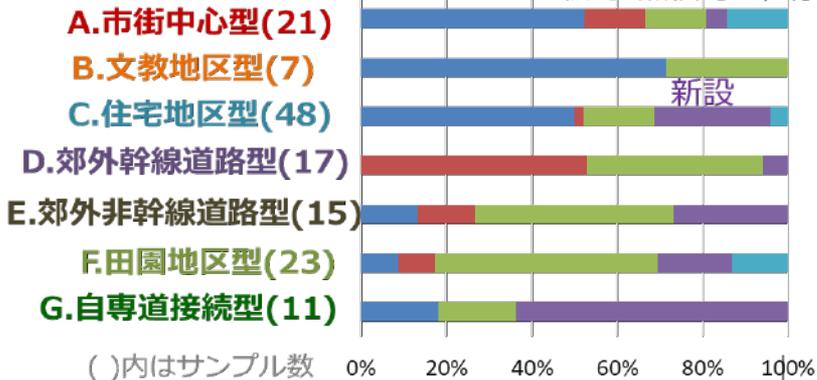


グループピング結果 (郊外部系)

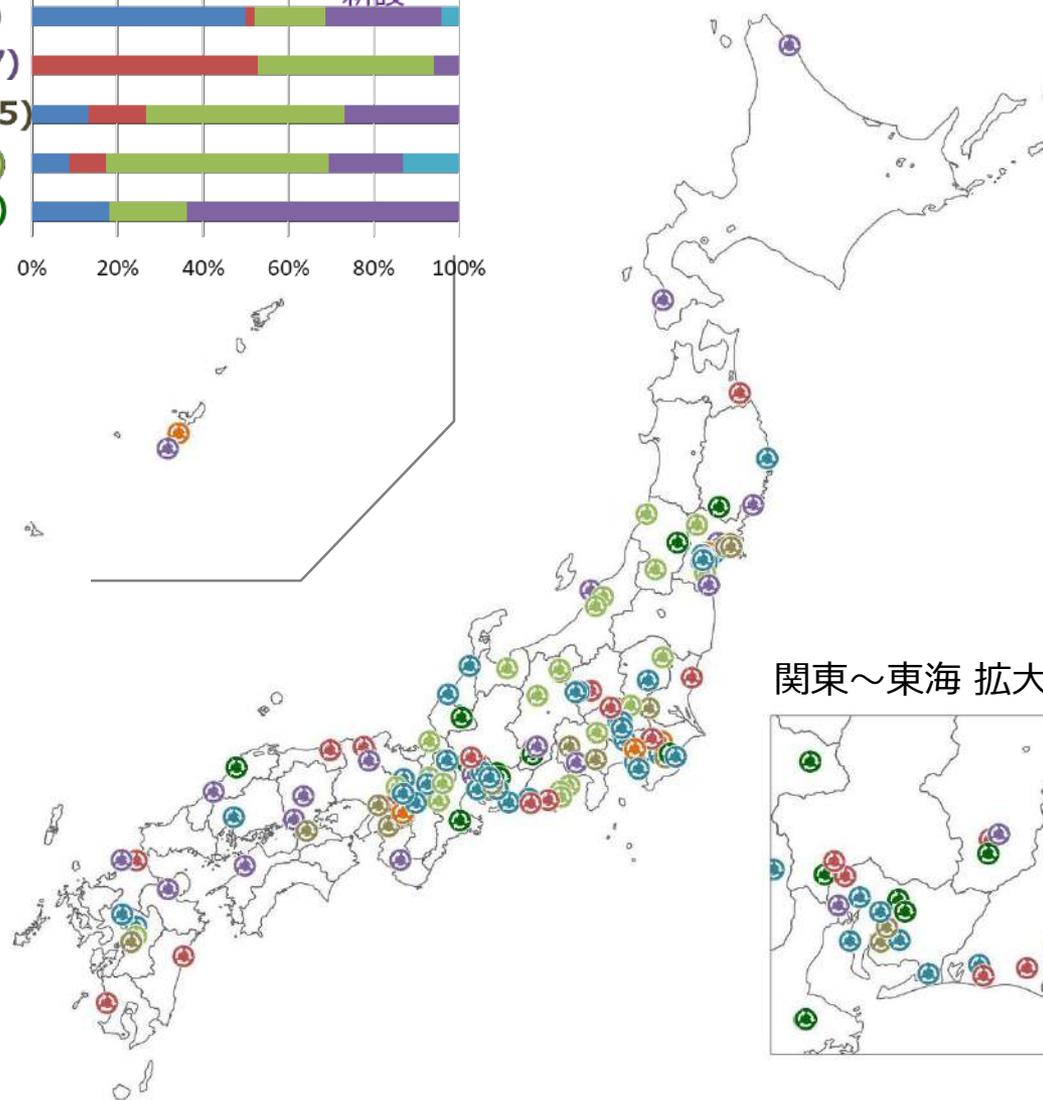


日本のRABの立地特性分類別空間分布

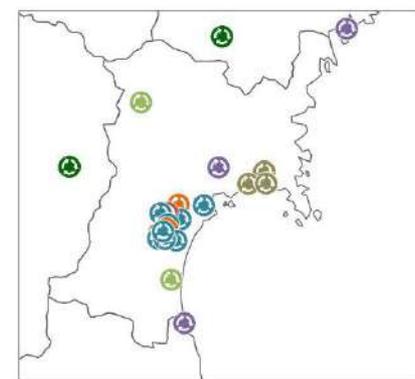
改良前交差点形式 : ロータリー 信号 無信号 不明



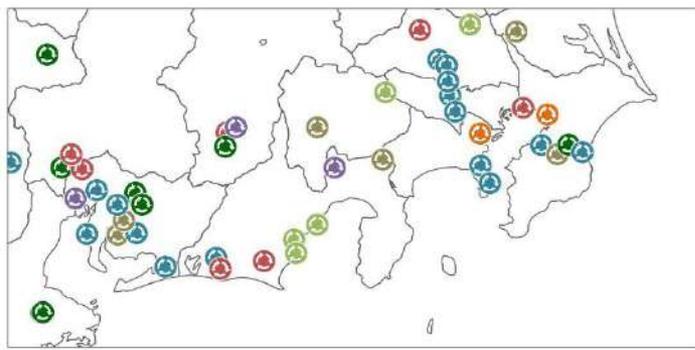
-  A : 市街中心型
-  B : 文教地区型
-  C : 住宅地区型
-  D : 郊外幹線道路型
-  E : 郊外非幹線道路型
-  F : 田園地区型
-  G : 自専道接続型



宮城県 拡大



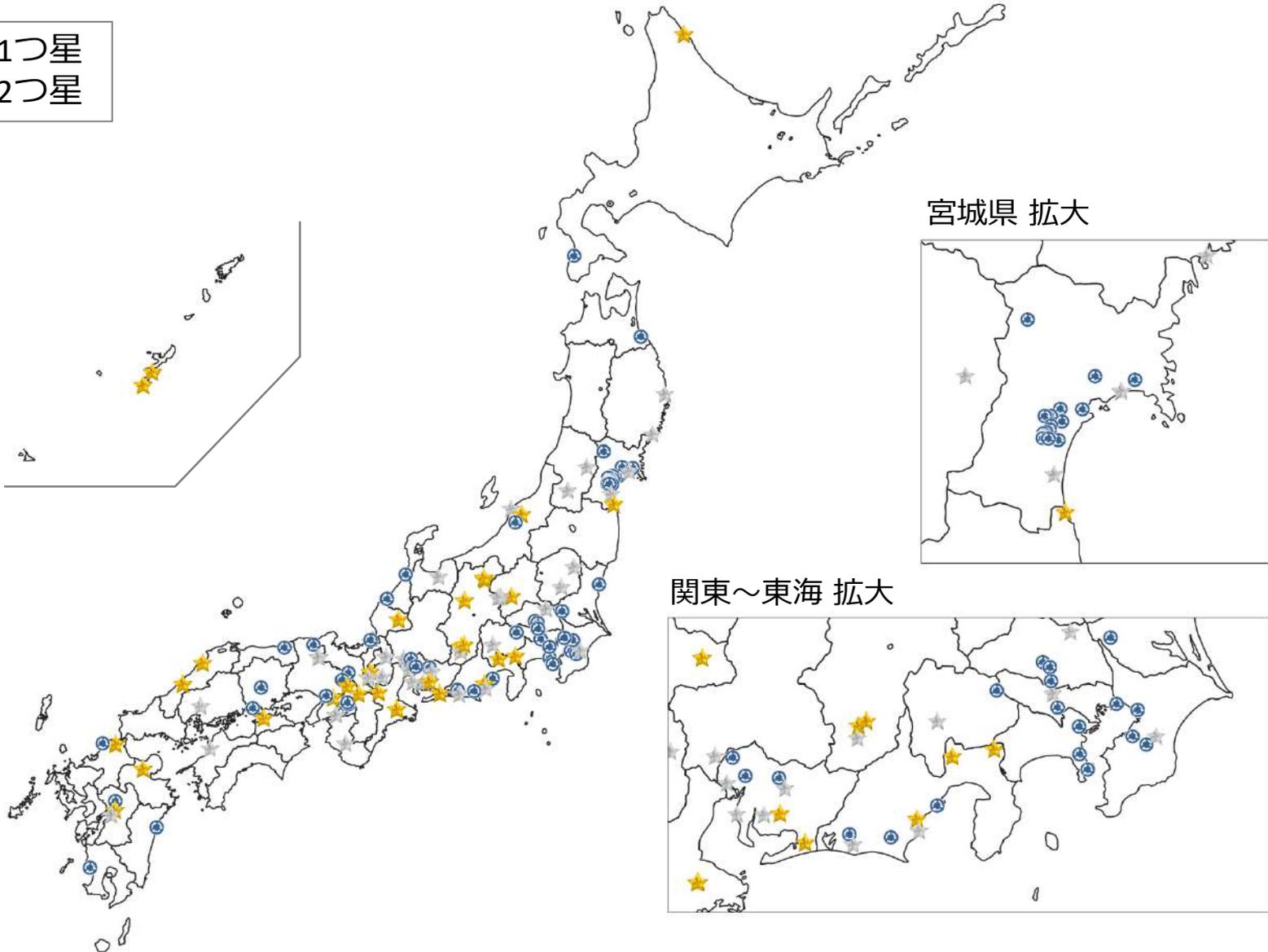
関東～東海 拡大



評価別マップ (総合評価)

➤ 好事例を示すことで、整備改良に際して参考にしてもらうことを意図

- ★ 1つ星
- ★ 2つ星



▶ 2007A, 2107Bプロジェクト

「日本のラウンドアバウトデータベースと事例集の整備」

- 全国130箇所に及ぶ日本のラウンドアバウトの100項目に関するデータベースとそれに基づく事例の体系的整理を行った
- これらの導入経緯, 合意形成, 適用場面, 構造, 課題などについての特徴を明らかにしてきた.

▶ 社会貢献プロジェクト2220の目的

- 上記の成果に基づき, ラウンドアバウトデータベースに関する

①web公開システムの開発, ②セミナー開催を行う.

- 日本のラウンドアバウトの実態に関する知見と数多くの興味深い事例について, 情報発信を行う.
 - セミナーにおける意見交換を通じて, 実務上のニーズや課題についての情報を収集し, データベースの内容にフィードバック
- これらにより, 道路交通安全と持続可能なまちづくりに寄与する望ましいラウンドアバウトの普及に向けて, IATSSから社会貢献を行うもの。

➤ Web公開システムの意義

- 国内各地でRABの導入が増える一方で、その実態の全貌は不明確
- RABのデータベースおよびWeb公開システムを開発することで、
 - 国内の導入事例の実態把握を可能に
 - 幾何構造等の比較や好事例の提示により、今後の計画・設計に対する情報提供・支援を可能に

➤ 主なターゲット・活用イメージ

- 自治体等の道路行政担当者・設計技術者
 - 導入を計画または検討中の自治体等に対して、類似の事例や参考にするべき好事例を提示することで導入への足掛かりに
 - 幾何構造を検討中の道路管理者やコンサルタントの設計技術者に対して、幾何構造の比較等を通じて設計検討を支援する
- 一般・研究者への公開
 - 国内のRAB導入状況を地図上で分かりやすく示し、認知度や理解の向上を図る
 - 導入箇所の位置情報、主要な幾何構造などの基本情報を網羅したデータベースを提供し、研究調査活動を促進

このあと、デモンストレーションを見ていただきます

➤ データベース

- 主要な幾何構造，立地特性の分類等の基本的な情報を網羅
- 各RABの主要な情報と全景が分かる写真を整理したカードの表示
- 好事例については「★または★★」の評価を付け，事例収集の参考に

➤ Web-GISをベースとした公開システム

- データベースの情報と連携し，ブラウザの地図上での色分け表示・レイヤ切り替えが可能
- ブラウザ上で簡易な集計・グラフ作成可能なダッシュボードを実装
- 一覧表示・キーワード検索と，データベースのcsv出力が可能

➤ 継続的な更新の容易性

- ブラウザの地図上で簡易にデータベースの追加や修正が可能な，管理者用システムも整備

➤ その他

- 現場での使用も想定し，スマートフォンでの閲覧にも対応

日本のラウンドアバウトデータベース

ホーム 地図 一覧 ダッシュボード その他

Web公開システムの趣旨や 利用上の注意, 利用方法, データに関する説明を掲載

<本サイトの趣旨・利用上の注意>

本サイトは、日本におけるラウンドアバウトの導入実態を広く一般に知っていただくことを目的に、(公財)国際交通安全学会の調査研究プロジェクト2220「データベース設備に基づいた日本のラウンドアバウトの実績と事例情報の発信」の研究成果をもとに作成したものです。

本サイトで公開している情報は、自由に利用できますが、利用の際は出典を記載してください。出典の記載例は以下のとおりです。

出典記載例：(公財)国際交通安全学会調査研究プロジェクト「データベース整備に基づいた日本のラウンドアバウトの実績と事例情報の発信」(当該ページのURL) (〇年〇月〇日閲覧) など

本サイトに掲載している情報は、随時更新していますが、必ずしも最新のものであるとは限りません。また、掲載する情報の正確性および完全性などに関して保証するものではありません。利用者が本サイトを利用したことにより生じる一切の損害、および第三者によるデータの書き込み、不正なアクセス等によって生じる一切の損害について、何ら責任を負うものではありません。

<利用方法>

地図： 地図上でラウンドアバウトの導入箇所が表示されます。
画面左上の「色分け」で、立地特性などにより色分けして表示することができます。
表示された位置をクリックすると、そのラウンドアバウトの情報がカード形式で表示されます。

一覧： データベースに含まれるラウンドアバウトを一覧表示し、所在地での検索や枝数等での絞り込みが可能です。
一覧表示されたリストは、csvファイルで出力が可能です。

ダッシュボード： 都道府県別や枝数別に、ラウンドアバウトの箇所数をグラフ化する事ができます。
また、グラフをpngファイルとして出力することができます。

<データについて>

立地特性分類： ラウンドアバウトが位置する箇所の用途地域区分や周辺の施設立地状況から、クラスター分析により機械的に判定したものです。
分析の詳細については、以下の論文を参照してください。
「国内ラウンドアバウト導入状況の経過と立地特性分析：土木計画学研究・講演集, No.66, 2022」

評価： ラウンドアバウトの導入を検討する際に参考となるような好事例について、星の数で示しています(★：良好、★★：特に良好)。個々のラウンドアバウトで導入背景や制約条件などはそれぞれ異なりますが、客観性を担保するためにこれらについては考慮せず、あくまでも実物を主に技術的観点から評価したものです。

外径： ラウンドアバウト環状部の直径の大きさ(m)。航空写真からの計測による推定値も含まれます。

枝数： ラウンドアバウトに接続する道路の数。

供用年月日： ラウンドアバウトとしての運用(環道交通優先・環道内に交通の中断なし)が開始された日付としています。

IATSS 国際交通安全学会
International Association of Traffic and Safety Scientists

日本のラウンドアバウトデータベース

ホーム 地図 一覧 ダッシュボード その他

色分け ▲

色分けの変更

- ・ 立地特性別
- ・ 評価別
- ・ 枝数別

背景地図や色分けのレイヤー切替

日本のラウンドアバウトデータベース

ホーム 地図 一覧 ダッシュボード その他

キーワード検索 (通称名・所在地・立地特性分類)

枝数 ~ 外径 ~

通称名・所在地（都道府県名・市町村名等）・立地特性分類の中からキーワード検索

148 件

ID	通称名	所在地	評価	立地特性分類	枝数	外径	供用年月日
カード 1	大留交差点	北海道檜山郡上ノ国町字大留		郊外幹線道路型	4	40	2019年10月11日
カード 2		青森県八戸市大字河原木八太郎山官地		市街中心型	4	27	2018年08月27日
カード 3		岩手県宮古市嶋の浜町1	★	住宅地区型	4	28	2017年03月12日
カード 4		岩手県大船渡市末崎町鶴巻87-1	★	郊外幹線道路型	5	30	2020年03月26日

色分け ▲

クリックすることで、該当の場所に地図が移動
カードの表示も可能

● 環状交差点指定
● 環状交差点指定外

▼ 凡例
50 km

Leaflet | 地理院スタイル

一覧表示 (検索例)

日本のラウンドアバウトデータベース

「静岡県」, 「4枝」, 「外径20~30m」のラウンドアバウトを検索した場合

ホーム 地図 一覧 ダッシュボード その他

キーワード検索 (通称名・所在地・立地特性分類)

静岡 枝数 4 ~ 4 外径 20 ~ 30

5件

	ID	通称名	所在地	評価	立地特性分類	枝数	
カード	59		静岡県静岡市清水区市道北矢部日本平線		田園地区型	4	26 2020年02月23日
カード	60	山の手環状交差点	静岡県焼津市関方	★★	田園地区型	4	27 2014年09月01日
カード	61	下藤環状交差点	静岡県焼津市下小杉	★	田園地区型	4	27 2020年03月13日
カード	62		静岡県菊川市柳1		市街中心型	4	26 2014年09月01日

csvデータでの出力も可能

色分け ▲

- 環状交差点指定
- 環状交差点指定外

凡例 20 km

条件に合致したRABを表示

日本のラウンドアバウトデータベース

ホーム 地図 一覧 ダッシュボード その他

English

都道府県別 立地分類別 枝数別 評価別

0件の都道府県を表示する

昇順 降順

都道府県別の導入箇所数をグラフ表示

都道府県	導入箇所数
北海道	1
青森県	1
岩手県	1
宮城県	1
秋田県	1
山形県	1
福島県	1
茨城県	1
栃木県	1
群馬県	1
埼玉県	1
千葉県	1
東京都	1
神奈川県	1
新潟県	1
富山県	1
石川県	1
福井県	1
山梨県	1
長野県	1
岐阜県	1
静岡県	1
愛知県	1
三重県	1
滋賀県	1
京都府	1
大阪府	1
兵庫県	1
奈良県	1
和歌山県	1
徳島県	1
高知県	1
香川県	1
岡山県	1
広島県	1
山口県	1
愛媛県	1
高知県	1
福岡県	1
佐賀県	1
熊本県	1
大分県	1
鹿児島県	1
沖縄県	1

色分け ▲

- 環状交差点指定
- 環状交差点指定外

凡例

100 km

Leaflet | 地理院タイル

地図表示 (評価別の例)

日本のラウンドアバウトデータベース

ホーム 地図 一覧 ダッシュボード その他

色分け

- 立地特性別
- 評価別
- 枝数別

★ ★ ★
★ ★
評価なし

淡色地図
地理院地図
航空写真
OSM

評価なし
 ★
 ★ ★
 環状交差点指定外

10 km

Leaflet | 地理院タイル

クリックするとカードを表示

日本のラウンドアバウトデータベース

ホーム 地図 一覧 ダッシュボード その他

https://roundaboutmapdemo.japaneast.cloudapp.azure.com/RoundaboutMap...

好事例には「★」

ID 55 吾妻町ラウンドアバウト 編集

所在地
長野県飯田市鈴加町

接続路線名
県道15号飯島飯田線
市道1-1号線（並木通り）
市道2-8号線

枝数 5枝
外径 41m
供用年月日 2014年09月01日

備考
2022年度に幾何構造の改良工事を実施

A市街中心型

立地特性を表した分類

基本情報

グラビア写真

構造の改良等の追加情報を記載

Google Map
のリンク

最終更新日 2022年12月20日

▶ 継続的な更新・運用

- プロジェクト終了後も情報を収集し、データベースの更新を継続的に実施
- 日本のRABの情報を網羅したWebサイトとして運用

▶ 各種研究への活用

- 国内のRABの実態把握，海外との比較，立地特性や地域別の幾何構造の特徴など，さまざまな分析に活用
- 分析成果は，今後同Webサイト内で公開も

▶ 周知活動

- ラウンドアバウト普及促進協議会，ラウンドアバウトサミットを通じた自治体への展開

▶ 海外データベースとの連携

- 米国Kittelson社が作成しているデータベースとの相互乗り入れについても検討中（英語版サイトも準備）
- 海外への情報発信

ラウンドアバウトサミットin長井での情報発信



▶ 参加者数：約200名

参加無料



ROUND ABOUT SUMMIT in NAGAI



豪雪地帯プレゼンツ

～ ひと・まち・くらしに やさしい環状交差点 住み続けられるまちをめざして～

日時 令和4年10月27日(木)
13:30~17:00 (開場 12:00)

申込期限
10/17
Mon

場所 長井市民文化会館
(長井市館町北5-10)

内容 警察庁からの情報提供
国土交通省からの情報提供
講演(公財)国際交通安全学会・(一社)交通工学研究会
国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所
自治体の取組報告
ポスターセッション

会場案内

○車でお越しの方
東北自動車道
「南陽高倉IC」から2.5分
○鉄道でお越しの方
山形鉄道フラワー長井線
「南風井」駅下車 → 徒歩1.3分
「長井」駅下車 → 徒歩2.0分

ACCESS MAP



「ラウンドアバウトサミットin長井」は(一社)建設コンサルタンツ協会のCPD認定プログラムです。
※当日は、ライブ配信を行う予定です。

ROUND ABOUT サミット in 長井

開催趣旨

ラウンドアバウト(環状交差点)は、交通事故の減少、災害時の有効性などが認められており、多くの自治体で導入が検討されています。
このようなことから、ラウンドアバウトに関する最近の動向や話題について情報発信するとともに、整備事例の紹介や意見交換を行い、より一層の普及を目的としてサミットを開催するもの。

■警察庁からの情報提供

「環状交差点の整備状況」



警察庁交通路
交通安全科
課長補佐(警視)
藤岡 基樹氏

(経歴)
1998年10月大阪府警署に警視官として採用、大阪府下の警察署、補駐隊、警察本部交通課交通統制課等で勤務。
2016年3月から2018年3月まで大阪府建設局に派遣。
2021年3月から現職。

■国土交通省からの情報提供

「ラウンドアバウトと道路交通安全対策」



国土交通省
道路局 道路交通安全・防災課
道路交通安全対策室
室長補佐
小川 裕樹氏

(経歴)
2008年国土交通省入省。
関東・近畿地方の道路事務所、総合政策局 物流政策課、道路局 環境安全課、国土技術政策総合研究所 道路交通研究部等で勤務。
2022年から現職。

■講演 (公財)国際交通安全学会(IATSS)・(一社)交通工学研究会(JSTE)

「ここまで増えた日本のラウンドアバウト ~ この10年の成長とこれから ~」



名古屋大学 大学院環境工学研究科
都市環境学専攻 教授
中村 英樹氏

(経歴)
1991年 東京大学大学院工学系研究科博士課程修了(工学博士)。同年、建設省入省、土木研究所研究員、主任研究員を経て
1996年 名古屋大学大学院工学研究科助教授。
2007年 同教授。2014年から現職。専門は交通工学。
(公財)国際交通安全学会ラウンドアバウト研究プロジェクトリーダー、
(一社)交通工学研究会会長、ラウンドアバウトマニキュアル出射小委員会委員長。

■講演 国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所

「積雪寒冷地におけるラウンドアバウト」



国立研究開発法人
土木研究所寒地土木研究所
寒地交通室長
宗廣 一徳氏

(経歴)
1989年 建設省土木研究所入省。1995年 北海道開発局函館建設建設課。2000年 外務省出向(在コジノ/サハリンスク日本国領事館)
2003年 国立研究開発法人北海道開発土木研究所、交通研究室、研究員
2007年から現職。積雪寒冷地の道路構造の試験研究に従事

■取組報告

ラウンドアバウト(環状交差点)を整備・計画している自治体の事例や取組を報告します。当日は3団体の報告を予定しています。

■ポスターセッション

ラウンドアバウト普及促進協議会に加盟している自治体等の取組状況をまとめたポスターを掲示し、サミット参加者への情報提供を行い、意見交換します。

★新型コロナウイルス
感染対策に関する
お願い

1. 会場の際、マスクの着用をお願いします。
2. 当日ご来場前にご自身の検温を行い、体調不良の場合は来場を自粛してくださいますようお願いいたします。
3. 会場内で感染疑いが発生した場合、医療機関等への身元情報開示にご協力くださいますようお願いいたします。

申込期限
10/17
Mon

【問い合わせ先】長井市建設課建設企画整備室
〒993-8601 山形県長井市栄町1番1号
TEL: 0238-82-8018, FAX: 0238-87-3371, 電子メール: kensetsu@city.nagai.yamagata.jp
※参加希望の方は、上記の電子メールまたはFAXにてウェブページの参加申込書を送付してください。

主催：ラウンドアバウト普及促進協議会

【会員自治体14市町】

秋田県多治見市、山形県長井市、北海道上ノ国町、石川県加賀市、長野県飯田市、長野県井ノ口町、長野県須坂市、長野県安曇野市、愛知県一宮市、岐阜県輪之内町、静岡県浜津市、滋賀県守山市、福岡県うきは市、沖縄県糸満市

後援：警察庁、国土交通省、山形県、(公財)国際交通安全学会、(一財)建設コンサルタンツ協会、(一財)交通工学研究会

主催：ラウンドアバウト普及促進協議会

「ラウンドアバウトサミットin長井」
ウェブページ
<https://www.city.nagai.yamagata.jp/soshiki/kensetsu/3/1/1/11556.html>
長井市はSDGs未来都市に選定されました。



事務局：山形県長井市建設課建設企画整備室
〒993-8601 長井市栄町1番1号 TEL/0238-82-8018 FAX/0238-87-3371

ラウンドアバウトサミットin長井 (R4.10.27-28)



- 参加者：自治体など行政関係者，民間技術者を中心に約200名
- IATSSプロジェクトの成果について2つの講演と3つのポスター発表による情報提供，普及促進に貢献

会場：長井市民文化会館



▶ IATSSプロジェクトの成果について、特別研究員から3つのポスター発表

国内ラウンドアバウトの導入状況の経過

日本大学 理工学部 交通工学系 交通工学研究室
 特別研究員 井上 重治
 特別研究員 長井 市郎

1. 背景と目的

2. 近用前例別のラウンドアバウト導入年表

導入年	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
導入件数	43	45	45	50	57	67	78	87	97	107	117	127	137

3. 導入事例の紹介

4. まとめ

国内ラウンドアバウトの立地特性分析

日本大学 理工学部 交通工学系 交通工学研究室
 特別研究員 長井 市郎
 特別研究員 井上 重治

1. 背景と目的

2. 分析対象・集計データ

3. クラスター分析による分類

4. まとめ

国内ラウンドアバウトの好事例分析

日本大学 理工学部 交通工学系 交通工学研究室
 特別研究員 長井 市郎
 特別研究員 井上 重治

1. 背景と目的

2. 好事例の抽出

3. 好事例別の立地特性

4. 好事例の紹介

5. まとめ



内谷重治長井市長挨拶



長井市平山子坂ラウンドアバウト



平山子坂ラウンドアバウト現地視察

ラウンドアバウトセミナー

ラウンドアバウトを活かしたまちづくり・地域づくり 九州地方セミナー

2022年
12月8日 木

時間 **13:00~16:00**
(12:30開場)

会場 **熊本市国際交流会館
6階ホール (熊本市中央区花畑町1-18)**

参加費 無料

本セミナーは、(一社)建設コンサルタンツ協会のCPD認定プログラムです。

QRコード

プログラム

司会: 熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター 准教授 吉城 秀治

- 13:00 開会挨拶** (公財)国際交通安全学会(IATSS) 2220プロジェクトリーダー
名古屋大学大学院 環境学研究科 教授 中村 英樹
- 13:10~13:30 国からの情報提供**
「ラウンドアバウトのすすめ」
国土交通省 国土技術政策総合研究所 道路交通安全研究室 室長 池田 武司
「環状交差点の普及と交通安全対策について」
警察庁 交通局交通規制課 課長補佐 藤岡 基樹
- 13:30~14:00 基調講演**
「ラウンドアバウトによるまちづくり」
大分工業高等専門学校 名誉教授 亀野 辰三
- 14:00~15:40 事例報告とパネルディスカッション (14:25~14:40 休憩)**
パネルディスカッション「これからのまちづくりとラウンドアバウト」
~住みよい地域の実現のために
コーディネーター: 日本大学理工学部 教授 下川 澄雄
パネリスト:
御船町建設課 係長 高橋 寛敦
大分県土木建築部 道路保全課 副主幹 竹中 克敬
株式会社オリエンタルコンサルタンツ関東支社 次長 渡部 数樹
名古屋大学大学院 環境学研究科 准教授 井料 美帆
- 15:40 質疑応答**
- 16:00 閉会挨拶** 名古屋工業大学大学院 工学研究科 准教授 鈴木 弘司

■主催: (公財)国際交通安全学会(IATSS) 2220プロジェクト
■後援: 国土交通省(申請中)、(一社)建設コンサルタンツ協会、ラウンドアバウト普及促進協議会、(一社)交通工学研究会

●お申込み・お問い合わせは●
(公財)国際交通安全学会 担当:今泉 <https://www.iatss.or.jp/> TEL: 03-3273-7884

開催趣旨

交差点における安全性や円滑性の向上などの効果が期待されることから、地域の自主的な取り組みによりラウンドアバウトの設置が全国各地で増えています。九州地方においても導入事例が増えつつあり、安全・安心で魅力的なまちづくり、地域づくりへのラウンドアバウトの活用が大いに期待されています。そこで本セミナーは、ラウンドアバウトに関するさまざまな知見・経験を持つ道路行政官、警察、学識経験者、専門技術者とともに、ラウンドアバウトを取り巻く環境、整備事例、課題、効果などについての情報共有をはかりながら、その有効性の発信を行うことを目的として開催するものです。

※本セミナーでは、CPD単位を取得できます。

基調講演・講師



大分工業高等専門学校 名誉教授 亀野 辰三 (かめの たつみ) 氏

大分市出身。博士(工学)、大分大学客員教授、専門分野:都市計画。主な社会活動:大分県ラウンドアバウト検討委員会委員長、大分県都市計画審議会会長、大分市西部海岸地区魅力創造拠点施設検討協議会会長、他多数。受賞歴:国土交通大臣賞、大分県知事賞、2019年度グッドデザイン賞、2020年度土木学会デザイン賞。

国からの情報提供・講師



国土交通省 国土技術政策総合研究所
道路交通安全研究室 室長
池田 武司 (いけだ たけし) 氏

2002年、国土交通省入省。国総研道路空間高度化研究室研究官、道路局道路交通管理課企画専門官、北海道開発局道路調査官等を経て、2022年4月より現職。



警察庁交通局交通規制課
課長補佐(警視)
藤岡 基樹 (ふじおか もとき) 氏

1998年10月、大阪府警察に警察官として採用。大阪府下の警察署、機動隊、警察本部交通部交通規制課等で勤務。2016年3月から2018年3月まで大阪市建設局に派遣。2021年3月から現職。

パネルディスカッション・コーディネーター



日本大学理工学部 交通システム工学科 教授 下川 澄雄 (しもかわ すみお) 氏

1984年日本大学大学院理工学研究科交通土木工学専攻修了、博士(工学)。(一財)国土技術研究センター、静岡県土木部道路建設課、(一財)国土技術研究センター-TIS企画推進室次長、道路政策グループ首席研究員などを経て、2012年4月より日本大学理工学部交通システム工学科教授。専門は交通工学。円滑で快適な道路ネットワークやこれからの交通まちづくりのあり方などについて研究。

パネリスト



熊本県御船町役場 建設課 土木係
係長 高橋 寛敦 (たかはし ひろのぶ) 氏

1998年4月、御船町役場に入庁。下水道課、総務課、商工観光課、企画財政課勤務を経て、2021年4月より建設課土木係に配属。



大分県土木建築部 道路保全課 施設改良班
副主幹 竹中 克敬 (たけなか かつとし) 氏

2000年4月、大分県庁に入庁。都市計画課、大分土木事務所などを経て、2020年4月より現職。



株式会社オリエンタルコンサルタンツ関東支社
交通政策部
次長 渡部 数樹 (わたなべ かずき) 氏

2004年、東京工業大学大学院修了、株式会社オリエンタルコンサルタンツ入社。名古屋大学への出向を経て、2016年に帰任後、交通計画・交通工学等を中心とした業務に従事。博士(工学)。



名古屋大学大学院環境学研究科
准教授 井料 美帆 (いりょう みほ) 氏

2007年、東京大学工学系研究科社会基盤学専攻博士課程修了(博士(工学))。専門は交通工学。交通安全や交通制約、特に歩行者を中心とした道路交通に関する研究に従事。

申込期限 2022年11月27日(日)まで

申込方法 国際交通安全学会ウェブサイトの「イベント」からお申し込みください。

<https://www.iatss.or.jp/event/>

※参加証は発行しません。定員を超えて入場いただけない場合には、ご連絡するか、申し込みを締め切る場合があります。



IATSS 国際交通安全学会

- 参加者101名
- IATSS データベースの知見に基づき、ラウンドアバウトを活かしたまちづくり、地域づくりについて議論、意見交換

オンラインアンケート調査の実施

質問項目	<ol style="list-style-type: none"> 1. シンポジウム全体について 2. シンポジウムのプログラムについて 3. ラウンドアバウトを活かしたまちづくり・地域づくりの理解について 4. ラウンドアバウトを活かしたまちづくり・地域づくりの期待について 5. 今後のセミナー等開催等の要望 6. 回答者属性
調査方法	Webアンケート
回答期間	R4.12.8(木)~16(金)
回答率	セミナー参加者:101名(関係者除く) 回答者:67名 回答率:66.3%



令和4年12月8日
(公財)国際交通安全学会

ラウンドアバウトセミナー「ラウンドアバウトを活かしたまちづくり・地域づくり 九州地方セミナー」
参加者アンケート

本日は、ご多忙のなか当セミナーに参加いただき、誠にありがとうございました。
本日のセミナーに参加いただきました皆様率直なご意見を今後の活動の基礎資料といたし、以下アンケートにご協力いただければ幸いです。回答は1、2分で終了します。

Q1 (本日のシンポジウム全体について) <回答欄>
本セミナーに参加した全体の感想を教えてください。
①非常に有意義であった ②有意義であった ③どちらともいえない ④有意義ではなかった →

Q2 (シンポジウムのプログラムについて)
本セミナーの各プログラムの感想を教えてください。
(国からの情報提供:「ラウンドアバウトのすすめ」国土交通省)
①非常に有意義であった ②有意義であった ③どちらともいえない ④有意義ではなかった →
(国からの情報提供:「環状交差点の普及と交通安全対策について」警察庁)
①非常に有意義であった ②有意義であった ③どちらともいえない ④有意義ではなかった →
(基調講演:「ラウンドアバウトによるまちづくり」大分高専 亀野名誉教授)
①非常に有意義であった ②有意義であった ③どちらともいえない ④有意義ではなかった →
(パネルディスカッション:「これからのまちづくりとラウンドアバウト」)
①非常に有意義であった ②有意義であった ③どちらともいえない ④有意義ではなかった →

Q3 (ラウンドアバウトを活かしたまちづくり・地域づくりの理解について)
ラウンドアバウトを活かしたまちづくり・地域づくりについて理解できましたでしょうか?
①十分理解できた ②理解できた ③どちらともいえない ④理解できなかった →

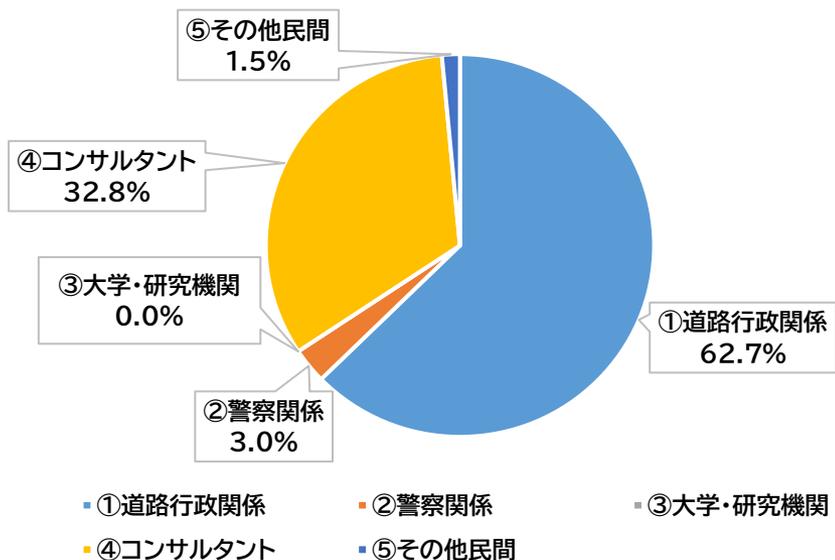
Q4 (ラウンドアバウトを活かしたまちづくり・地域づくりへの期待について)
ラウンドアバウトを活かしたまちづくり・地域づくりを実現するためにラウンドアバウトに期待する事項を、3つお答えください。(3つ該当しない場合は1つまたは2つを回答ください)
①災害時の機能確保(災害に強い) ②シンボル機能(地域のランドマーク) ③安全性の機能向上
④快適性の機能向上 ⑤生活道路の安全対策 ⑥道路の機能変化の印象づけ ⑦環境負荷の軽減
⑧維持管理のし易さ ⑨その他(具体的に:) →

Q5 (今後のセミナー等開催時の要望)
今後「ラウンドアバウトを活かしたまちづくり・地域づくり」を広く展開することを目的としたセミナー等を企画する際に、希望する講習内容等についての意見を記入してください。(自由回答)

Q6 (回答者様ご自身について)
ご自身のことについて、該当番号に○印をつけてください。
所属:①道路行政関係、②警察関係、③大学・研究機関、④コンサルタント、⑤その他民間
年齢:①20~30歳代、②40歳代、③50歳代、④60歳代、⑤70歳以上
い。

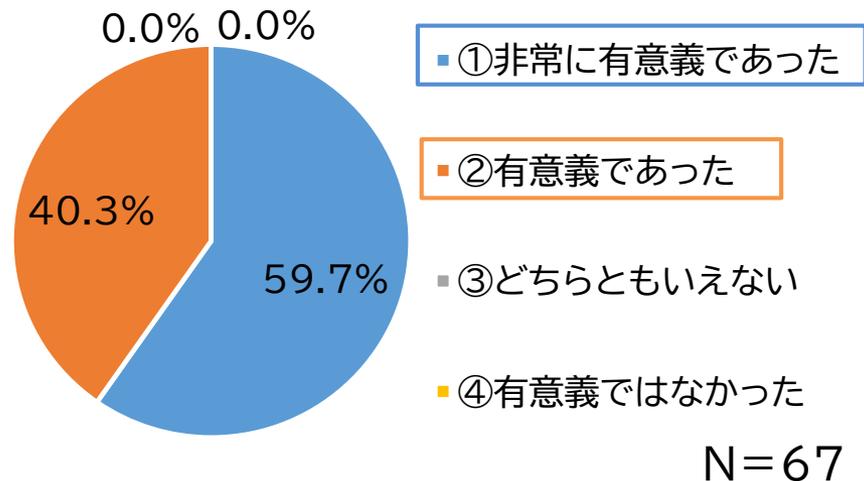
アンケートは以上です。ご回答ありがとうございました。

■回答者の属性

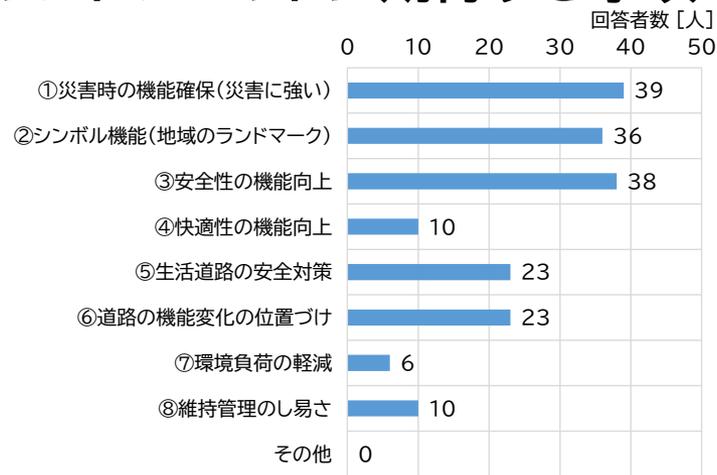


所属	回答者数 [人]	構成比 [%]
①道路行政関係	42	62.7%
②警察関係	2	3.0%
③大学・研究機関	0	0.0%
④コンサルタント	22	32.8%
⑤その他民間	1	1.5%
合計	67	100%

■セミナーに対する感想



■ラウンドアバウトに期待する事項



※複数回答可(最大3つ)

▶ 主な意見

- 導入経緯，導入前後での地域の変化等，様々な全国事例
- 中央島の利活用によるまちづくりへの貢献やシンボルマークに適した構造
- 供用開始後の課題，解決策の事例紹介

- 調整段階や導入後に生じた問題について
- デメリット・短所について
- 道路を横断する歩行者の立場に立った安全対策や分かりやすさ

- 広く展開する上では，表彰制度を設けることも有意義
- 質疑応答に十分時間を取ってほしい

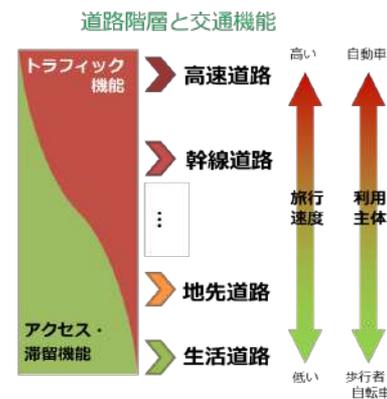
▶ 本プロジェクトの成果

- ラウンドアバウトDBのWeb公開システムを開発
- セミナー開催による情報提供・意見交換の実施

→自治体や国民に研究調査結果に関する情報を提供し、安全安心で持続可能な道路交通の展開に資する社会貢献を行った

▶ 本プロジェクトを通じての所感・課題

- 継続的な情報発信の重要性
 - 課題についても十分な情報提供が必要
- 自然災害の頻発する日本での、道路ネットワーク上へのRABの戦略的配置によるまちづくり・地域づくりの重要性
 - 道路の機能的階層の考慮
- 中上位階層の道路での導入は進みつつあるが、下位の**生活道路や細街路上のデバイス**としてのRAB適用も課題
 - 様々な道路利用者に対応した機能と構造が必要
 - ハンプや狭窄、スムーズ横断歩道などと組み合わせた、面的な適用促進
 - 適用環境に応じた、**省コスト型の小型構造**の検討が必要





公益財団法人 国際交通安全学会

International Association of Traffic and Safety Sciences